

光が丘地区学校跡施設利活用事業の これまでの経過と今後の方針について



相模原市役所
こども・若者政策課
令和6年8月

1 光が丘地区の概要

光が丘地区 の特性

光が丘地区は、昭和30年代後半から急速な市街化が進み、住宅中心の街並みが形成され、人口増加とともに、地域団体が協働して活発な活動が展開されている地区です。

人口減少 ・ 少子高齢化

2025年時点では25,475人の見込みですが、40年後の2065年には15,289人になると予想されています。

高齢化率は、2043年にピークを迎え、約46%程度で推移する見込みです。

2 公共施設等の概要

○ 光が丘地区の公共施設

小学校、中学校、公民館、こどもセンターなどの地域施設が点在するほか、療育センター陽光園や陽光台保育園などの広域施設が立地しています。

市が保有する地区内の公共施設は約67%以上が築40年を超えており老朽化が進んでいます。

○ 集約化する公共施設等の概要

療育センターと障害者更生相談所は、療育が必要な方々や障害児者への支援・相談業務などを行っています。陽光台保育園は定員120人の市立保育園です。

光が丘地区の公共施設配置図

これまでの経過

療育センター陽光園 築50年

建設年度 S49-H5
延床面積 3,290㎡
現地建替は、敷地規模や周辺状況から、課題が多い。



陽光台保育園 築50年

建設年度 S49
延床面積 718㎡
現地建替は、敷地規模や周辺状況から、課題が多い



陽光台小学校 築49年

建設年度 S50-S51
延床面積 6,409㎡

陽光台こどもセンター 築16年

建設年度 H20
延床面積 503㎡
※陽光台児童クラブとの複合



光が丘小学校 築55年

建設年度 S44-H2
延床面積 7,876㎡
併設：光が丘児童クラブ



光が丘児童館 築53年

建設年度 S46
延床面積 196㎡

青葉小学校 築47年

建設年度 S52-S53
延床面積 5,718㎡
※学習環境のあり方検討対象



併設：青葉小学校放課後子ども教室・青葉児童クラブ

並木小学校 築50年

建設年度 S49-S50
延床面積 7,002㎡

並木こどもセンター 築31年

建設年度 H5
延床面積 505㎡
※並木児童クラブとの複合施設



光が丘公民館 築40年

建設年度 S59
延床面積 1,004㎡
※長寿命化改修検討対象



青葉児童館 築49年

建設年度 S50
延床面積 253㎡
※行財政構造改革プランの見直し対象



※建設年度：令和6年4月1日時点

※建設年度は、棟ごとに表しています。
(古い棟-新しい棟)
※市営住宅、消防団詰所は除いています。

● 認可保育園、認定こども園

背景と目的

本事業は、光が丘地区内の子どもに関する公共施設の老朽化に加え、小・中学校の児童生徒数の減少に伴う小学校の再編を背景に今後未利用となる見込みの公共施設（既存ストック）を有効活用し、子どもに関する施設を中心とした公共施設の再編を行うことで、将来にわたり、持続可能なまちづくりの実現を目指すものです。



光が丘・陽光台・並木・青葉小学校

小・中学校の児童生徒数の減少に伴う学習環境のあり方の検討を行い、市教育委員会において、令和7年3月を目途に、青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校に再編するという対応方針を定めたところです。

閉校後の
学校跡施設
の有効活用



療育センター陽光園、陽光台保育園など子どもに関する公共施設の多くが築40年以上を経過しており、建て替えなどを検討する時期を迎えています。

【取組の方向性】

今後、閉校することになる青葉小学校の学校跡施設は、

「避難所としても使える、子どもや地域の活動の場」

を基本とした利活用を検討。

光が丘地区公共施設再編事業の取組経過

これまでの経過

R3年度 市民対話ワークショップ

R4.8月 基本構想の策定

R4年度 市民検討会、こどもWS

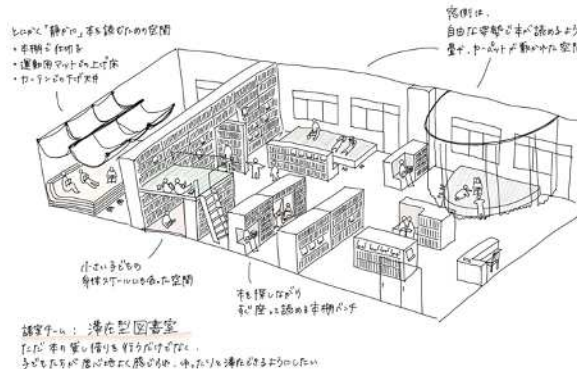
市民検討会等のまとめ

【地域・子ども活動機能】

- ・ 学校が担ってきた地域コミュニティの場としての役割や子ども・若者を育む拠点として、次の機能を導入します。
- ・ 子どもたちや子どもの育成等を目的とした団体の利用のほか、全年代の地域の皆様が利用できる施設を想定しています。



《市民検討会》



市民検討会の成果

地域・子ども活動機能に必要な主な諸室等

滞在型図書室、保育室・遊戯室、防音多目的室、調理室・ランチルーム、体育館、グラウンド、くすの木周辺等

《R5年度》

築40年以上が経過している既存の校舎に必要な改修を行ったうえで、「地域・子ども活動機能」をB棟、療育センター陽光園、保育園等の機能をA棟、C棟に配置することを基本とし、R5年度中の基本計画策定を目指して計画の素案を作り、庁内検討を行いました。

《庁内検討内容》

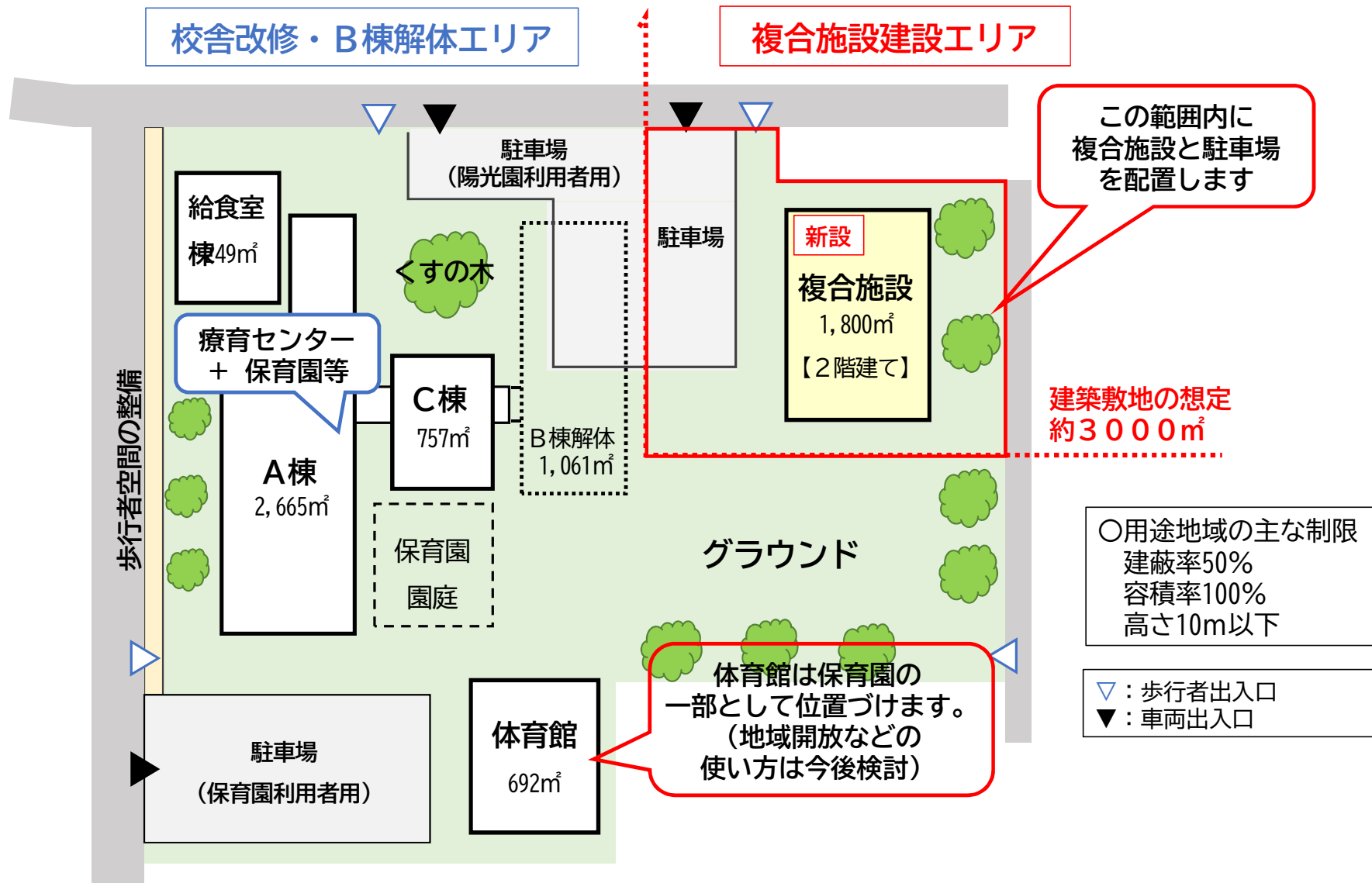
- ・「地域・子ども活動機能」と「公民館機能」は、同一の場所にあることで、より利便性が高められ、連携しやすいと考えられること。
- ・青葉小学校の利活用に向けた改修とほぼ同時期に、光が丘公民館の長寿命化改修が必要なこと。



《取組の方向性》 ※令和5年12月21日戦略会議にて決定

- 光が丘公民館を青葉小学校の跡地に移転します。
- 小学校のB棟を解体し、「公民館機能」、「地域・子ども活動機能」「青葉児童館の機能」に必要な建物を新築します。
- A棟・C棟は、療育センター（陽光園）、保育園等として活用します。
- 未利用となった土地は売却等により、事業の財源として活用します。

- 複合施設の建築敷地は、用途地域・建物規模等を踏まえ、「総2階建て」を想定し、約3000㎡とします。（今後の検討により、建築敷地を拡大することもあります。）



複合施設の機能イメージ

今後の方針

類似機能を共有して整備費用やランニングコストを抑えつつ、地域の皆さんが利用しやすい新しい施設の整備を目指します。

《光が丘公民館》

諸室	面積 (㎡)	合計 (㎡)
大会議室	171	1004
小会議室	37	
料理実習室	56	
茶室	28	
和室	91	
コミュニティ室	65	
保育室	38	
図書室・資料室	74	
事務室	40	
その他共用部	404	

《地域・子ども活動機能》

諸室	面積 (㎡)	合計 (㎡)
防音多目的室	128	1061
調理室・ランチルーム	128	
保育室・遊戯室	128	
滞在型図書室	190	
その他共用部	487	

《青葉児童館》

諸室	面積 (㎡)
遊戯室・図書室・共用部等	253

《複合施設》

機能	諸室	面積 (㎡)
公民館	大会議室	約1800
	小会議室	
	料理実習室	
	茶室	
	和室	
	コミュニティ室	
	保育室	
	図書室	
	事務室	
児童館	遊戯室①	
	遊戯室②（防音機能）	
	フリースペース（ランチルーム）	
	図書室	
共用部	事務室	
	共用部（トイレ・廊下等）	

※下線のある諸室は、機能が重複（類似）しているものを示しています。

※イメージのために作成したものであり、具体的な検討を行う中で、諸室の構成や面積の内訳は変わります。